

本製品を安全に運用するために、この取扱説明書をよく読み理解するまでは、操作およびメンテナンス作業を行わないでください。

本取扱説明書はいつでも必要な時に取り出せるよう所定の場所に保管してください。

はじめに

このたびは除菌電解水給水器Hyqua 100をお買い上げいただき、ありがとうございます。

お買い上げいただきました本製品の性能を十分発揮していただくために、この説明書をよく読み、使用方法、保守管理等を十分ご理解・把握の上効率よく安全にご使用ください。

本説明書について

この取扱説明書(以降、本書)は、末永く本製品の能力を最大限発揮させ、かつ、使用者の健康と安全を確保することを目的として作成しています。

本製品を使用される前、また設置される前に必ずお読みいただき、いつでも見られるように保管して くださるようお願いいたします。

本書におけるすべての著作権は、株式会社SEEMS(以降、弊社)に帰属します。本書の内容の一部 または全部を無断転載することは著作権法上での例外を除き、禁じられています

本書の内容は予告なしに変更することがあります。あらかじめご了承ください。

本書の記載には万全を期しておりますが、万一誤りなどがございましたら、弊社までご連絡ください。

本書は日本語を母国語とした人を対象としています。日本語を母国語としない人に本製品に関する作業を行わせる場合は、お客様の責任で作業者に安全教育と取り扱い指導を徹底してください。

本書中の表記について

本製品は、運用者の安全を第一に考え、設計されています。しかしながら、製品の性質上、どうしても取り除くことができないリスクが存在します。本書および本製品上では、それらのリスクの重大性および危険性のレベルを、「危険」、「警告」および「注意」事項の3段階に分けてシグナルワードとして表示しています。

シンボル記号

本書では、以下の絵表示を使用しています。



- 禁止事項
- 行ってはいけない事項を示します。



- 強制事項
- 必ず行っていただく必要のある事項を示します。



- 威雷注章
- ・特定の条件において、感電の可能性を警告します。
- ・電気制御盤内、端子台、コネクタ接続部などに高電圧部や充電部があり、本書の 注意事項を守らないと、感電のおそれがあります。
- 高温注意



- 特定の条件において、高温によるやけどの可能性を警告します。
- ヒーター部およびヒーター周辺部は高温になり、本書の注意事項を守らないと、 やけどのおそれがあります。また、電源遮断後も余熱でやけどをするおそれがあります。



- 塩素ガス注意
- 特定の条件において、塩素ガスが漏えいする可能性を警告します。
- ・本書の注意事項を守らないと、塩素ガスによる皮膚刺激や呼吸器障害が発生するおそれがあります。



- 化学性危険
- 酸性の生成物には、失明や皮膚の炎症を起こす可能性を警告します。
- このラベルの貼られている箇所のサービス作業を行う場合は、主電源を切り、防 護具を着用してください。



- 飲用禁止
- 本製品からの生成物を飲用すると、人体に悪影響があることを警告します。
- 本装置から生成される電解水は、決して飲まないでください。



取扱説明書の参照

施工前、操作前に本書および本装置に関連する文書を読んで理解しておく必要性があることを示します。



- 一般的警告
- |・本書の注意事項を守らないと、けがを負う可能性があることを示します。

シグナルワード

⚠ 危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷 ^{※1} を
	負う可能性が高い内容について記述しています。
↑ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷 ^{※1} を
	負う可能性がある内容について記述しています。
<u> </u>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が軽傷 ^{※2} を負う可能性
	がある内容について記述しています。

※1: 重傷とは、失明、けが、やけど、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院 や長期の通院を要するもの。

※2:治療に入院や長期の通院が必要ないもの。(上記「重傷」以外)。

また、シグナルワードの他に物損のみに関連する事項は[注記] として表示します。

注 記

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、本製品、設備、機器などに 損害や故障を引き起こす可能性がある内容について記述しています。

補足事項

本書では、下記の補足表記も使用しています。

メモ

運用上特に知っておかなければならない情報や内容がある場合に記述します。

名称などの表記

本書では、本製品上のボタンやスイッチ類、画面上の表示部や操作部の表記を以下のようにルール表記しています。

表記	用途	例
[]	製品上のボタンやスイッチ類	・[XXX] ボタン
角ブラケット	• 画面名	• [XXX] 画面
	ウインドウ名	・[XXX] ウインドウ
[]	・入力値、表示値	・「0」に戻ります。
かぎ括弧	• 特定の単語、部品名など	•「XXX」と表記します。
	• 参照先	・『1.2.3 XXX』参照
二重かぎ括弧		
*	• 補足説明	• ※1: X X X とは…

図、イラストについて

本書に掲載している図やイラストは参考イメージです。実際の製品と異なる場合がありますので、ご了承ください。

取扱説明書対象者の定義

本書は、本製品に関与されるすべての方を対象に作成しておりますが、安全上、記述内容ごとに能力や経験に応じ、以下に示す作業者の定義付けを行っています。

お客様 (管理責任者)	本製品および周辺装置(オプション品)の運用、衛生管理の責任者 ・ 本製品の正常な操作による安全な運用状態の管理が行え、異常状態の発見と速やかな販売店への連絡が行える方を指します。
メーカー (弊社) 電解槽、主要部品の取り扱いに関する人員 ・電解槽、主要部品(電磁弁、主要配管、基板等)の取り付けおよび交換を なう保守点検作業は、弊社作業員が行います。	
本製品の設置・保守・点検を行う人員 ・本製品の設置・保守についての指導を受け、熟知されている方を指して保守担当者は本製品の分解・組み立ての知識および注意事項を熟知してことを条件とします。	

適合規格

PSE適合:電気用品安全法

保証と責任の範囲

保証期間

本製品には、1年間の保証期間を設けています。保証書に、記載内容および『販売店名・お買い上げ日』などの記載事項を記入されていることを確認してください。

機械の調子が悪い場合は、まず本書の『7 トラブルシューティング』をご確認ください。

それでも解決しない場合は、お買い上げいただきました販売店までご連絡ください。 保証期間中であれば、 無償で修理致します。

保証期間を過ぎた場合や保証規定外の場合には、有償にて修理致します。

保証規定

- 正常な使用状態(取扱説明書、本製品貼り付けラベル等の注意書に従った使用状態)で保証期間内 に故障した場合には、下記範囲内にて無償修理を致します。
 - ・保証範囲:本製品主要部の部品、修理費用
 - ・保証の範囲外:磨耗による消耗部品の交換
- 無償修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店にご連絡ください。
- 設置場所の変更があった場合、お買い上げの販売店にご連絡ください。

保証責務の除外

保証期間中でも次の場合には原則として有償とさせていただきます。

- 取扱説明書に記載されている注意事項をお守りいただけなかった場合
- 使用上の誤り、不当な修理や改造による故障および損傷の場合
- お買い上げ後、運送中の落下等による故障および損傷の場合
- 故意または人為的要因による故障および損傷の場合
- ・ 火災・地震・風水害・落雷・その他の天変地変・異常電圧・指定外の使用電源等による故障、損傷 の場合
- 保証書のご呈示がない場合
- 保証書にお買い上げ年月日、お客様名、お買い上げ頂いた販売店名の記入がない場合、あるいは保証書の字句を書き換えられた場合

保証書について

- 保証書は日本国内においてのみ有効です。
- 保証書は再発行致しませんので、大切に保管してください。
- ・保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無償修理をお約束するものです。従って、 保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修 理等につきましては、お買い上げいただきました販売店、または弊社にお問い合わせください。

目 次

はじ	りめに		ii
	本説	明書について	ii
	本書	中の表記について	ii
	取扱	説明書対象者の定義	iv
	適合	規格	iv
	保証	と責任の範囲	v
1	運用	上の注意事項	1
	1.1	使用および保全のための必要空間	1
	1.2	安全にご使用いただくために	2
		1.2.1 設置について	2
		1.2.2 使用について	4
		1.2.3 日頃の管理やメンテナンスについて	5
2	製品	品概要	8
	2.1	仕様(機器諸元)	8
	2.2	各部の名称とはたらき	9
		2.2.1 製品正面	9
		2.2.2 製品右側面	.11
		2.2.3 製品左面	.12
		2.2.4 製品背面	.13
	2.3	付属品、消耗品	.14
		2.3.1 付属品	.14
	2.4	オプション品	.16
		2.4.1 電解補助液BOX	.16
		2.4.2 シャワーロング	.16
3	設置		.17
	3.1	設置の前に	.17
		3.1.1 設置の流れ	.17
		3.1.2 設置場所の環境・注意事項	.17
	3.2	設置の前の確認	.18
	3.3	設置方法	.19
	3.4	シャワーヘッドの取り付け	.20
	3.5	給水ホースの連結	.20
	3.6	壁面に取り付け	.21
	3.7	水栓に接続する	.22
	3.8	電源・アースを接続する	.24
	3.9	電解補助液を入れる	.24
4	使用	方法	.27
	4.1	使用の準備	.27

	4.2	設定方法	28
		4.2.1 生成量の設定(1~200 L)	28
		4.2.2 生成濃度レベルの設定 (Lv1~Lv5)	28
		4.2.3 ハンドセンサーの生成時間の設定(生成時間20秒~120秒)	29
		4.2.4 チャイルドロックの設定	29
	4.3	生成の方法	30
		4.3.1 開始/停止ボタンによる生成	30
		4.3.2 ハンドセンサーによる生成	30
5	画面	i構成	32
	5.1	お知らせ表示	32
6	メン	·テナンス	33
	6.1	日常のメンテナンス	33
		6.1.1有効塩素濃度の確認	33
		6.1.2 pHの確認	34
		6.1.3 日常の清掃および管理	34
	6.2	消耗品	35
	6.3	定期メンテナンス	36
	6.4	定期交換部品	36
7	トラ	·ブルシューティング	37
	7.1	こんなときは	37
		7.1.1 シャワーヘッドからの水垂れ対処方法	38
		7.1.2 所定量の通水手順	39
		7.1.3 通水の短時間繰り返し手順	40
	7.2	エラー表示一覧	41
8	製品	の保管および廃棄	43
	8.1	本製品の使用を長期間停止する場合	43
	8.2	本製品を廃棄する場合	44
		8.2.1 本体の廃棄	44
		8.2.2 梱包材等の廃棄	44

1 運用上の注意事項

本章では、お客様が本製品を取り扱う上で特に注意しなければならない安全に関する内容を記載しています。

本製品を使用する人ばかりでなく、製品のメンテナンスや製品付近で作業を行うすべての人が本書の安全に関する記述をよく読み理解しておいてください。

⚠ 警告



本製品の使用者は、使用に先立って販売店からの使用方法説明を受けてください。また本製品の取扱説明書をよく読み、本製品の安全な運用につとめてください。

1.1 使用および保全のための必要空間

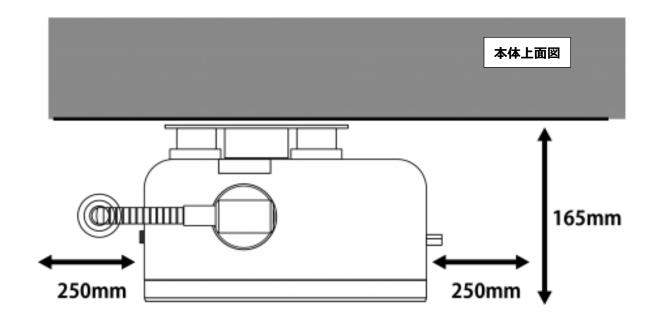
本製品周辺の使用および保全のための必要空間は、下図に示す寸法以上の距離を空けてください。

注記

・本製品を設置する際は、下図を参考に保守作業を実施する為のスペースを確保してく ださい。



- ・電源スイッチのON/OFF、電解補助液扉(添加液扉)の開閉、給水口の点検・清掃を 行うのに必要です。
- ・同梱品の壁掛けキットを使用し設置する場合は必ず下図の数値以上のスペースを確保 してください。



1.2 安全にご使用いただくために

ここに示した事項は、ご使用になる人や他の人への危害、財産への損害を防止するための内容を記載 していますので、必ずお守りください。

1.2.1 設置について

電気部品について

・本製品の分解、改造は絶対に行わないでください。感電、やけど、重量パーツが外れ、 けがを負う可能性があります。



- ・電解槽、電気制御盤には高電流が流れていますので、決して触れないでください。感電の原因となります。
- ・本製品は絶対に分解・改造は行わないでください。異常作動や漏電により感電、発火 の原因となります。
- ・濡れた手で本体のスイッチ、配線等に触れないでください。感電の原因となります。

換気設備について

<u></u> 警告



- ・本製品は屋内に設置し、必ず換気設備を設け、換気しながら使用してください。電解水には低濃度の塩素が含まれています。塩素ガスが蓄積し危険な状態になる原因となります。
- ・万が一、塩素ガスを吸い込んだ場合や電解水をご使用になった際、身体に発疹など異常が見受けられた際は速やかに医師の診断を受けてください。

コンセントについて

企警告



・コンセントはたこ足配線せず、単独で使用してください。コンセントの発熱などにより火災の原因となります。また電圧が降下し誤作動や故障の原因となります。

注 記



・電源は、単相100Vのコンセントをご使用ください。アース線(ミドリ線)を必ず接続 してください(D種接地)。

電源コードについて

企業告



- ・コンセントに電源コードのプラグを抜き挿しする場合、濡れた手で行わないでくださ い。感電の原因となります。
- ・電源コードを踏みつけたり、変形させたりしないでください。火災や感電の原因となります。



プラグにホコリが付いていたら拭き取ってください。またプラグはコンセントに根元まで差し込んでください。火災の原因となります。

設置場所について

注 記



- ・周囲温度が5℃以下また35℃以上になるような場所に設置しないでください。
- ・揮発性、引火性のある物、また粉状の物、ホコリ、油煙等が発生する場所、結露する場所の近くに設置しないでください。火災の原因となります。



- ・腐食性ガスが発生する場所に設置しないでください。電気部品等が腐食し不具合の原 因となります。
- ・本製品の周囲250mmに物がないようにしてください。機械内部の放熱ができず故障、 火災の原因となります。
- ・排水は、下水または浄化槽へ排水されるよう設置してください。

設置場所や設置作業について

注意



- ・給水ホースを潰したり、変形させたりしないでください。漏水する原因となります。
- ・販売店もしくは弊社と事前に設置位置などの打ち合わせを行い、お客様と同意の上で 設置してください。思わぬ事故の原因となります。
- ・本製品は水を扱うため、万が一漏水が起きた場合でも支障がない場所に設置してくだ さい。



- ・壁掛けキット等で確実に固定してください。地震等による転倒、落下により本製品の破損やけがの原因になります。
- ・本製品を移動させる際水平を保ち、傾けたり、倒したりしないようにしてください。漏水の原因となります。

注記

・雨水配管への配管接続はしないでください。雨水配管先が下水道に接続されている場 合、下水道法の適用を受けます。



- ・河川・湖沼・側溝等に直接排水しないでください。
- ・本製品は日本国内仕様です。海外では使用できません。
- ・本製品の止水は給水口での元止め方式です。生成中はシャワーホースの出口を塞いだ り、折り曲げたり、引っ張ったりしないでください。水漏れや故障の原因になります。



PVC材等の耐腐食性材質のもので配管してください。配管が金属の場合、腐食します。

使用する水について

沣 記

- ・水道法水質基準に適合した硬度80mg/L以下の水道水にしてください。
- 水圧は0.1MPa~0.5MPa(推奨0.20MPa以上)の水圧を確保してください。
- 使用する給水管にて水撃が予想される場合は水撃防止装置を取り付けてください。
- ・5℃以下や35℃以上での給水は絶対に使用しないでください。

1.2.2 使用について

本製品について



- サービスエンジニア以外の方は修理、分解をしないでください。感電や思わぬ事故の 原因となります。
- ・製品に無理な衝撃を加えないでください。
- ・本製品、電源コードに水をかけないでください。感電・故障の原因となります。

介注意



・ 本製品は医療用として開発されたものではありません。 医療行為に使用しないでくだ さい。

注 記



・本製品の上に物を置かないでください。振動での落下や、本製品の変形等の原因にな



・濡れた手で表示・操作パネルやボタンを操作しないでください。故障の原因になりま す。



・電解水生成の前に水栓(蛇口)を開いて水漏れがないことを確認してください。水栓の ネジやワンタッチ継手の緩みや錆の発生により水漏れの原因となります。なお、使用 しないときは水栓を閉めてください。

電解水について

企警告



・本製品から生成される電解水は飲用ではありませんので、決して飲用しないでください。

注意



- ・本製品から生成される電解水は他の薬剤と混合して使用しないでください。
- ・電解水を長時間使用する際は、ゴム手袋などを着用してください。稀ではありますが「かゆみ・赤浮腫」などが見られる場合があります。皮膚などの弱い方は、希釈した電解水でお確かめになった上でご使用ください。
- ・電解水をご使用になった際、身体に発疹など異常が見受けられた際は、速やかに医師の診断を受けてください。

1.2.3 日頃の管理やメンテナンスについて

注記

- ・本製品の上に物を置かないでください。振動での落下や、本製品の変形等の原因になります。
- 0
- ・濡れた手でボタンを操作しないでください。故障の原因になります。
- ・本体など電装部に水をかけないでください。漏電の可能性があります。
- ・本製品を安全に運用するために管理責任者を設置してください。
- ・管理責任者は使用方法をよく理解し、安全な運用を行ってください。管理責任者以外 の方が設定変更等を行わないようにしてください。



- ・異常停止した場合は直ちに使用を止め、管理責任者の方は速やかに販売店もしくは弊 社までご連絡ください。
- ・本製品を半日以上使用しない場合は、給水の水栓を閉めてください。

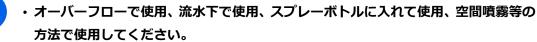
電解水の使用について

注記



本製品から生成される電解水は流通・販売しないでください。

- ・生成水の性質・使用後について生成水には、微量の塩化物が含まれています。長期間 のご使用により金属類にサビを発生させ、樹脂製品・ゴム類も劣化させる場合もあり ますので注意してください。
- ・食品の原料水として使用しないでください。



・噴霧等をする場合は水道水中のミネラルなどが対象物に付着し白くなる場合があります。都度、拭き取り等をおこなってください。尚、コピー機、パソコンなどの精密機器には直接噴霧しないようにしてください。故障する場合があります。

電解補助液について

⚠ 警告



・電解補助液は飲用ではありません。決して飲用しないでください。

注意

- ・専用の電解補助液以外の液体を添加剤として使用しないでください。有害物質を生成、有毒ガスを発生させて、生命に係わる恐れがあります。
- ・混合禁止。電解補助液は、塩酸を含む酸性の溶液です。他の水溶液(塩素系製剤)とは 絶対に混合しないでください。塩素ガスが発生し、生命に係わる恐れがあります。
- ・他の薬剤と混合しないでください。特にアルカリ系洗剤、アルカリ系漂白剤および酸性洗剤との混合は危険です。
- ・目に入ると、失明や視力低下をおこすおそれがあり、危険です。
- ・使用期限は、未開封状態で製造日から3年、開封後はできるだけ速やかにご使用くだ さい。



- ・ こぼすと周囲の金属類を錆びさせます。 こぼした場合には、水で流すか、十分拭き取ってください。
- ・電解補助液を他の容器に小分け又は移し換えて使用しないでください。
- ・ガスの発生がありますので十分な換気の下で取り扱ってください。
- ・床や器具にこぼれた時は、十分に洗い流してください。
- ・直射日光を避けて保管してください。
- ・運搬に当たっては、電解補助液は本体から完全に抜き取ってください。
- ・空容器の廃棄は各自治体の廃棄方法に従って処理してください。
- ・皮膚に付着した時直ちに付着部あるいは接触部を多量の水で十分に洗い流してくだ さい。

- ・ 衣類や靴に付着した時汚染された衣類や靴を速やかに脱いで多量の水で洗い流して ください。
- ・以下の状況となった場合は、応急処置を施した後、速やかに医師の手当を受けてくだ さい。
 - 衣類や靴に付着した時汚染された衣類や靴を速やかに脱いで多量の水で洗い流してください。
 - 目に入った時目を擦らないで直ちに流水で洗い流してください。
 - 飲み込んだ場合無理に吐かせようとせず出来るだけ多量の水を飲ませるか、 牛乳や生卵を飲ませてください。
 - ガスを吸入した場合は、新鮮な空気の場所に移し、出来れば酸素吸入を行ってください。

2 製品概要

本製品は、水道水を使用し酸性電解水を生成する電解水衛生管理システムです。

2.1 仕様(機器諸元)

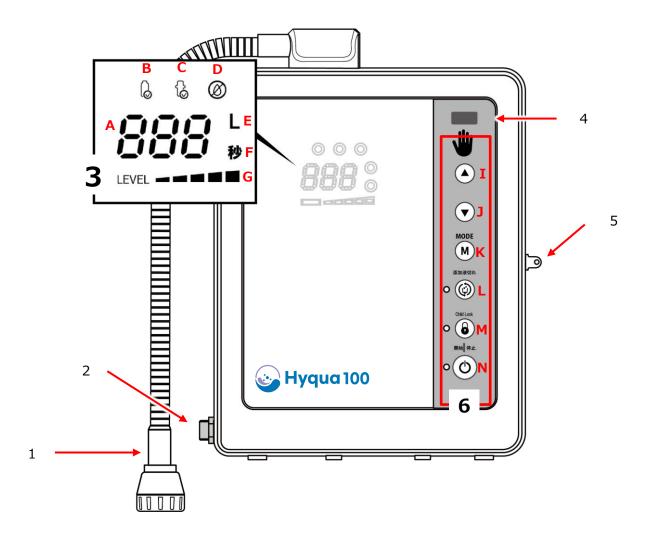
項目	仕様	
品名	Hyqua 100	
型式	SHW-100W	
電源	AC100V 50/60Hz	Z
定格消費電力	60W	
外形寸法	W265(291)×D134(165)×H33	30(366)mm
生成時電解水特性	酸性電解水	
生成時電解水特性 生成能力	рН	pH約5.0~6.5
※原水の水圧、水	有効塩素濃度	約20~40mg/kg
質、水温、設置環 境、設定条件に よって異なります	生成量	2.7L/min (最大3.0L/min)
製品質量	乾燥重量	約4.2kg
定格水圧	0.2MPa(付属の減圧弁一次側水圧0.1MPa~0.5MPa)	
給水	水道法水質基準に適合した硬度80mg/L以下の水道水	
使用温度範囲	周囲温度:5~35℃	
設置場所	周囲温度:5~35℃ 屋内仕様(壁掛け可、要排気設備、凍結・結露しない場所であること) ・硬度等、詳細な現場確認事項があります。 ・酸性電解水の水質・取水量等は、水道水の水質や周辺環境等により変化します。 ・排水の排水先を、下水もしくは浄化槽に排水されるように設置してください。 ・本製品からの排水および使用した電解水は、設置・使用状況によっては中和処理が必要な場合があります。 ・腐食性ガスが発生する場所に設置しないでください。電気部分等が腐し不具合の原因となります。 ・揮発性、引火性のある物、また粉状の物、ホコリ、油煙等が発生する場所、結露する場所の近くに設置しないでください。火災の原因となります。	

2.2 各部の名称とはたらき

メモ

- 写真の色は印刷物ですので、実際の色と若干異なる場合があります。
- 製品の定格およびデザインは改善等のため予告なく変更する場合があります。

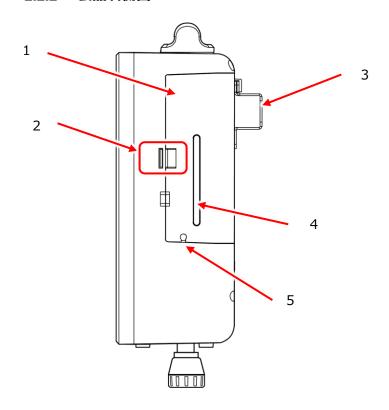
2.2.1 製品正面



No.	名 称	説明
1	シャワーヘッド	ストレートとシャワーに切り替え可能。
2	給水口	• 給水ホースを接続します。

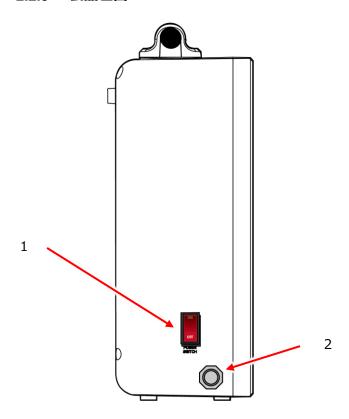
す。
す。
す。また流量が
少数の間、電解
す。
<i>,</i> ます。
,ます。
用します。
プ
マーロップ 電解補助液(添口)
,
ます。
。※チャイル
可能となりま
╌┼═╲╶┯┷╣┶
はランプが点
中停止します。
•

2.2.2 製品右側面



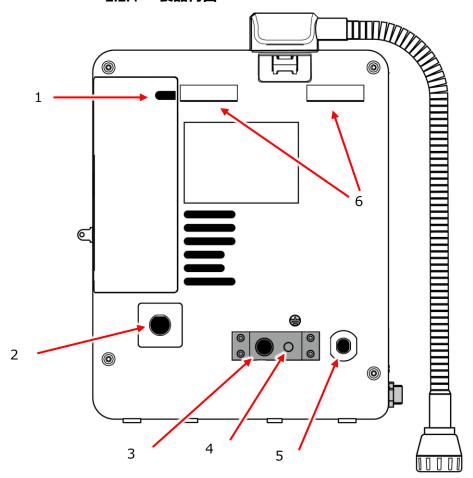
No.	名 称	説 明
1	電解補助液扉	電解補助液を収納するスペースの扉です。
2	電解補助液扉開閉ボタン	電解補助液扉の開閉時に押します。
3	壁掛け金具	本体を壁に固定する金具。
4	電解補助液窓	電解補助液の残量が確認できる窓。
5	電解補助液BOXの供給用穴.1	電解補助液BOX(オプション)チューブを通します。 (正面向かって右側に電解補助液BOXを設けた場合)

2.2.3 製品左面



No.	名 称	説明
1	電源スイッチ	電源の「ON」「OFF」を行います。 電源プラグの抜き差しの時には必ず「OFF」にしてください。
2	給水口	付属の給水ホースを接続します。

2.2.4 製品背面



No.	名 称	説明
1	電解補助液BOXの供給用穴2	電解補助液BOXを使用する際にチューブを通します。 (正面向かって左側に電解補助液BOXを設けた場合)
2	プログラムアップグレード用 コネクター	制御プログラムを書き換える際に使用するコネクター。 ※使用しない時は、キャップを付けてください。
3	電源コード	電源コンセントに接続します。
4	アース端子	アース線を接地します。
5	ヒューズ	装置保護用(250V 3.15A)
6	壁掛け金具差し込み穴	壁掛け金具を固定する差し込み穴です。

2.3 付属品、消耗品

2.3.1 付属品

※本製品の梱包内に入っている付属品です。

確認	コード	品名	数量	画像	仕様	使用用途
		保証書	1 冊	保証書		設置日、設置先を記入 しメーカーにお送りく ださい。
		連絡先ステッカー	1枚	連絡先		販売店の連絡先を記入 し製品に貼り付けてく ださい。
		簡単取扱説明書	1枚			設置使用の前に必ずお 読みください。
		壁掛け金具セット (金具・固定用ネジ6個)	1 セット		SUS304製	本製品の壁掛け固定に 使用します。
		壁かけパット	2個			本体裏面下部に貼り付 け本体の固定に使用し ます。
		ユニオンアダプ ター(パッキン 付き)	1本			本体に給水ホースを接 続する際に使用しま す。
		メッシュ	2個			給水時のゴミ等を取り 除きます。(一個は予備 用)

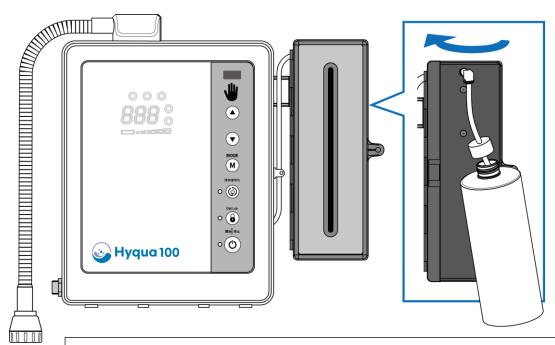
確認	コード	品名	数量	画像	仕様	使用用途
		給水ホース接続 用 ワンタッチアダ プター				水道蛇口に給水ホース を接続する為のアダプ ター。
		給水ホース 1m	1本		(株)カクダイ LS4365- 2 G3/4×1m	本体への給水
		ミニカップ (50CC)	1個			シンク等に1L程度溜めた有効塩素濃度確認用の電解水を計測用に汲み取る際にご使用ください。
		シャワーヘッド セット	1本		長さ:450mm	ヘッド部分を回すこと でストレートとシャ ワーに切り替えられま す。
		電解補助液	1本		Hyqua専用 1L	電解水を生成するための電解補助液です。

メ モ 付属品・オプション品などの商品が変更になる場合がございます。

2.4 オプション品

設置環境に応じて、オプション品をご使用ください。

2.4.1 電解補助液BOX



外形寸法:90(W) x270(H) x105(D) mm

電解補助液BOX(オプション品)を使用することで電解補助液1Lをそのまま使用することが可能なので、電解補助液の交換頻度を下げることが出来ます。

2.4.2 シャワーロング



外形寸法:長さ860mm※シャワーヘッドは同梱品のものを付け替えてご使用ください。

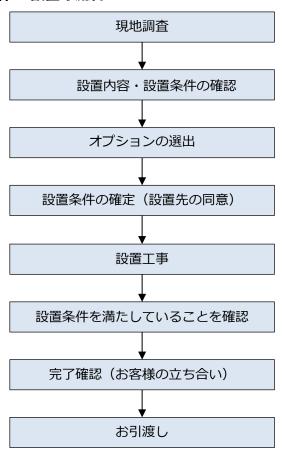
同梱のシャワーヘッドでは長さが足りない現場で使用します。

3 設置

3.1 設置の前に

本製品が安全に性能を十分発揮できるような設置環境を、オプションの要不要とともに、販売店の設置担当者とご確認ください。

3.1.1 設置の流れ



3.1.2 設置場所の環境・注意事項

メ モ □ 電解補助液の補充作業等が容易となるように、留意願います。

3.2 設置の前の確認

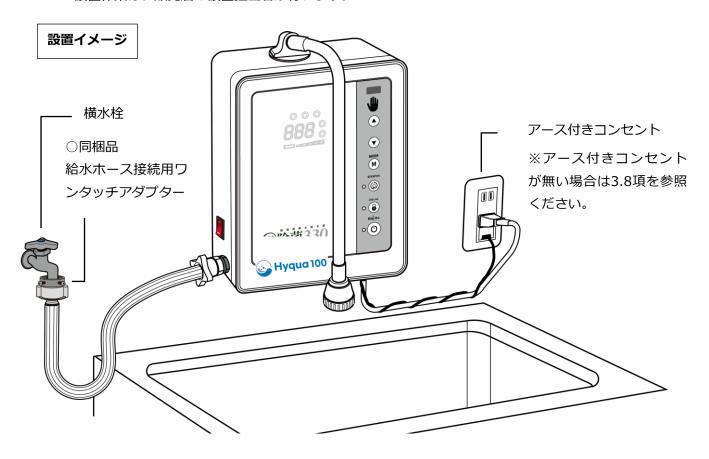
給水栓の確認

設置作業を行う前に以下の項目をご確認ください。 水栓への取り付け、違う方法での取り付けをご希望の場合等は、お買上の販売店でご相談ください。

・取り付け出来ない水栓	吐水口の直径24mm以上 吐水口の先端部のストレート長さが8mm以下 センサー付き 8mm以下 シャワー付き 24mm以上
• 直接、給水ホースが接続できる水栓	洗濯機用ホーム水栓
・部品の交換により、直接給水ホースが接続できる水栓	洗濯機用ホーム水栓 自在水栓 + 洗濯機用ニップル
同梱の給水ホース接続用 ワンタッチアダプターにて接続可能な水栓	横水栓 立形自在水栓 ツーバルブ混合形

3.3 設置方法

設置作業は、販売店の設置担当者が行います。



壁板に取り付ける場合は、下記の工具や部材をご用意ください。

工具	同梱品
プラスドライバー• ウエス・水栓スパナ又はモ	壁掛け金具 • 給水ホース • 固定ネジ(6
ンキーレンチ2本	本) ● 壁掛けパット

タイル、コンクリートの壁板に取り付ける場合は、上記に加え下記の工具や部材をご用意ください。

工具	部材(別売り)
電気ドリル◆ コンクリート用ドリル	カールプラグ(#12×25、6ヶ)• カールプ ラグ取り付けネジ(皿タッピングビスM5× 25、6本)

注 記

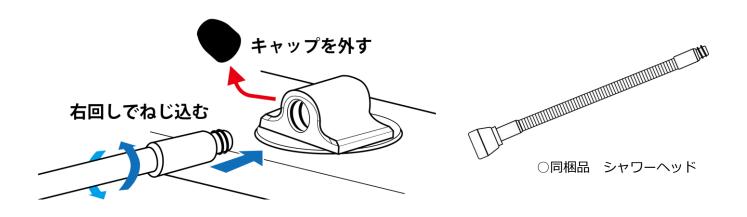
・本体へのゴミや異物混入を防ぐ為、給水ホースを接続する前に水道管のフラッシングを行ってください。(フラッシングとは、配管加工、水の停止などで発生する管内の汚れの洗い流しのことです)



- ・特に、水道管を分岐して給水する場合は、ゴミや異物が混入しやすいので、十分にフラッシングを行ってください。
- **※フラッシングの際は、水を桶、ボール等で受けて、汚れが無くなるまで行ってください。**

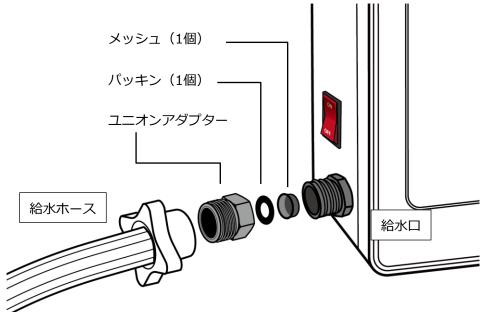
3.4 シャワーヘッドの取り付け

本体のシャワーヘッドセット接続口のキャップを外し、同梱品のシャワーヘッドセットを本体の接続口に入れて、右に回して取付けてください。キャップは保管の際などに使用しますので大切に保管してください。



3.5 給水ホースの連結

給水は給水ホース、ユニオンアダプターを連結して、図のように本体の給水口に連結します。 連結する時に本体の給水口の入口にゴミ等をろ過するメッシュを設置してください。



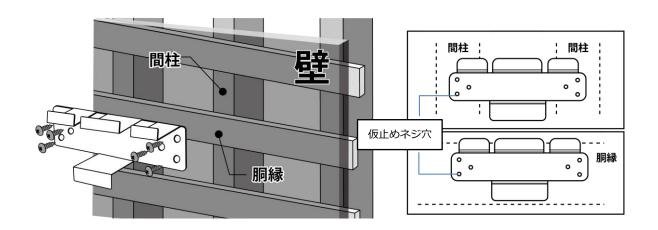
※メッシュにごみなどが詰まると水の流れが悪くなりますので定期的に掃除してください。

メ モ 本器と水栓の間を、同梱品の給水ホース(長さ1m)で接続してください。 給水ホースの長さが不足する場合は、別途、ご用意ください。 シャワーヘッドや給水ホースは確実に接続してください。水漏れの原因になります。

3.6 壁面に取り付け

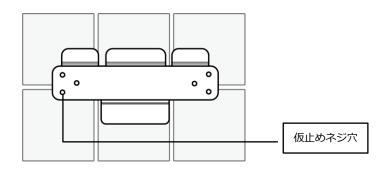
壁板に取り付ける場合

壁面内の(横)胴縁、又は、間柱に固定します。取り付ける位置を決めて、壁掛け金具の左下の穴にネジを止めて、壁掛け金具を仮止めしてから、他の5ヶ所をネジで固定します。

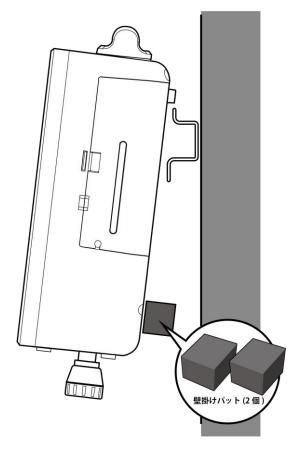


タイル・コンクリートの壁面に取り付ける場合

壁掛け金具を取り付ける位置を決め、カールプラグを取り付ける為の下穴を、コンクリート用ドリルで穴 6ヶ所あけ、カールプラグを挿入します。皿タッピングビスM5X25を使用して壁掛け金具を固定します。



本体背面の壁掛け金具差し込み穴に、壁掛け金具の凸部を差し込みます。軽く左右に動かし、壁掛け金具の凸部が確実に本体の壁掛け金具差し込み穴にはまっていることを確認してください。



同梱品の壁掛けパット(2個)を本体 背面の下部に貼り付けてください。

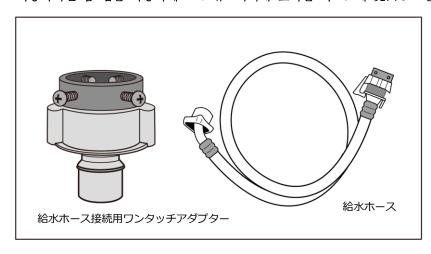
3.7 水栓に接続する

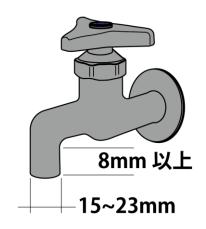
横水栓に接続する

同梱部品の接続金具と給水ホースを使用して接続します。

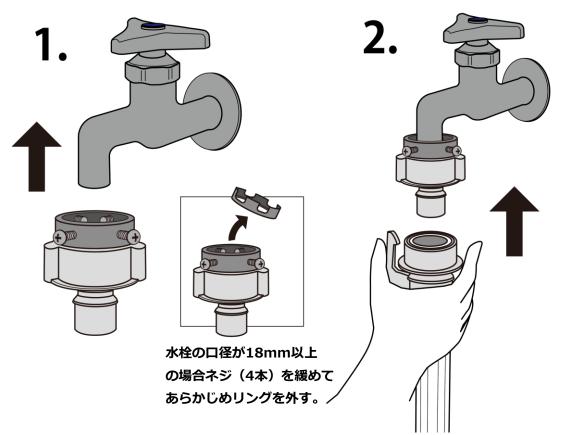
接続に適した水栓(横水栓)

同梱品





- 1.水が出ないように水栓八ンドルを閉じる。
- 2.接続金具のネジ(4本)を水栓の口の径まで緩める。
- 3.水栓にまつすぐ押し当て、ネジ(4本)を均等に締める。
- ※壁などで後部が狭い場合は、前もって奥側のネジを調整しておいてください。ネジが均等に締められていないと、水漏れの原因になります。
- 4.締め付けニップルを反時計方向に回してしつかりと締め付ける。



- 5 給水ホースを水栓に接続します。給水ホースのカバーとレバーを押し下げたまま接続金具に差 し込み「パチン」と音がするまで押し上げます。
 - ※下向きに引き、抜けないことを確認してください。

3.8 電源・アースを接続する

電源コードを接続する

電源プラグをコンセントに差し込みます。電源は単相AC100V(50/60Hz)を使用してください。

アースを接続する

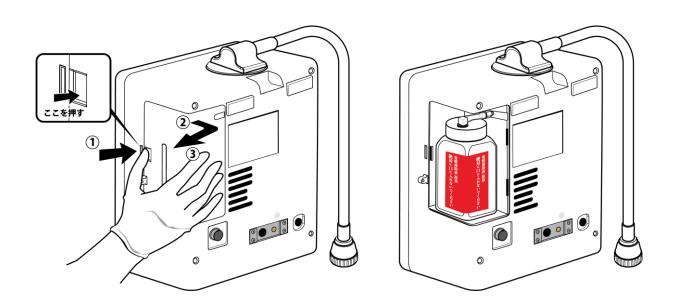
付属のアース線を使用して接続してください。アース線は本体の後ろに付着しています。

- アース端子付きコンセントがある場合アース線先端の被覆をむき、芯線部をアース端子に確実に 固定します。
- アース端子がない場合、電気設備技術基準に基づき、必ず電気工事士によるD種接地工事を行ってください。
- ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線には、絶対に接続しないでください。

3.9 電解補助液を入れる

電解補助液 (添加液) 扉の取り外し・取り付け

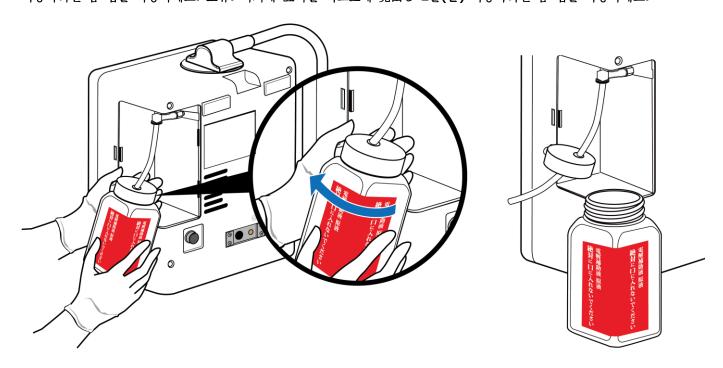
電解補助液(添加液)扉を取り外す時は、接続部を①の方向に押しながら、②の方向に開けて③の方向に引いて取り外します。扉を取り付ける際は逆の手順を行ってください。



電解補助液(添加液)ボトルの取り外し

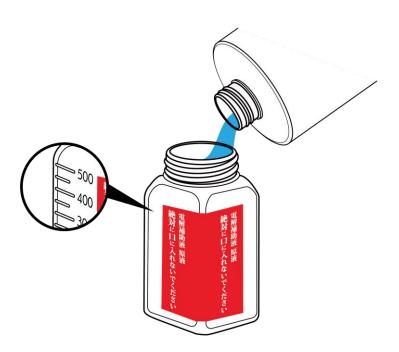
内側の電解補助液(添加液)ボトルをゆっくりと引き出してください。

図のようにボトルのキャップを握って固定した状態でボトルを左に回すとボトルが外れます。



電解補助液 (添加液) の補充

電解補助液(添加液)ボトルに電解補助液(添加液)をゆっくり入れてください。側面の目盛りを確認しながら500mL以上にならないように注意してください。



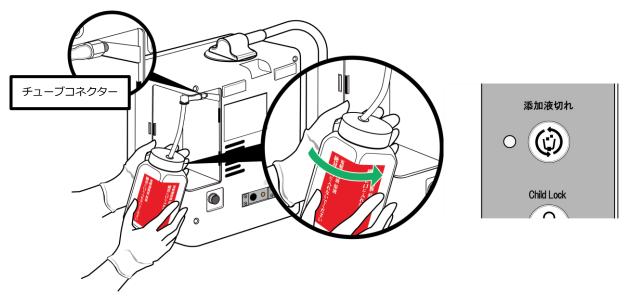
注 記



・電解補助液(添加液)には強い刺激があります。補充の際は必ずゴム手袋を着用し、絶対に飲用しないで下さい。皮膚や目に付いた場合はすぐに大量の水で洗い流してください。

電解補助液(添加液)ボトルの取り付け

図のようにボトルのキャップを握って固定した状態で下のボトルを右にまわしてキャップを締めてください。その際に電解補助液(添加液)ボトルと本体をつなぐチューブコネクターが緩むことがあるので、締め直してください。



電解補助液(添加液)補充ボタンを長押し(約3秒)すると、電解補助液(添加液)の吸引を行い、生成可能な状態になるまで1分程度かかります。

注 記

・電解補助液(添加液)を、こぼしたり、付着させたりした場合は、乾いた布など で拭き取ってください。放置すると腐食の原因になります。



※チューブコネクターが緩むと電解補助液(添加液)切れのエラーが出る場合があります。電解補助液ボトル取り付け時には、チューブコネクターの締め具合を チェックしてください。

4 使用方法

4.1 使用の準備

給水の準備

水栓ハンドルを開けて給水状態にします。

- ※切替コックを使用している場合は、本器側に給水する様にしてください。
- ※給水ホースの接続部及び本体からの水漏れのないことを確認してください。

電源投入

電源コードのプラグをコンセントに確実に差し込み、

本体の左側面にある電源スイッチを「ON」にします。

電解補助液(添加液)の補給

初めてご使用の場合、添加液切れランプが点滅しています。前3.9項に従い、補充願います。電解補助液(添加液)ボタンを長押し(約3秒)すると、電解補助液(添加液)の吸引を行い、生成可能な状態まで自動で動作します。

吸引動作中は、シャワーホースより吐水します。

必ず給水状態とし、シンクなど排水可能な場所で行ってください。

ご使用中に電解補助液(添加液)切れとなった場合も同様に操作してください。



注 記

操作の前に、電解補助液(添加液)ボトルに電解補助液を補給してください。 補充後、添加液切れから復旧しない場合は、電解補助液(添加液)から本体をつなぐチュー ブコネクターを確実に締めてください。



またチューブ側のコネクターを水で洗い、本体側のコネクターは水で濡らしたタオルなどで拭いてください。塩の結晶が付着しコネクターが締まりきれていない場合があります。

오류! 여기에 표시할 텍스트에 見出し 1을(를) 적용하려면 홈 탭을 사용하세요. 오류! 여기에 표시할 텍스트에 見出し 1을(를) 적용하려면 홈 탭을 사용하세요. 오류! 여기에 표시할 텍스트에 見出し 2을(를) 적용하려면 홈 탭을 사용하세요. 오류! 여기에 표시할 텍스트에 見出し 2을(를) 적용하려면 홈 탭을 사용하세요. 生成量が少ない場合:給水口のメッシュにゴミが無い場合、水圧が0.2MPa程度あっても配管口径、配管長によっては生成量が2.3L/min以下となりE3エラーが発生する場合があります。ポンプ増設などの可能性もありますので販売店にご相談ください。

生成量が多い場合: 生成量が3.0L/min以上になっている場合は水栓ハンドルを締め、2.7 \sim 3.0L/min程度にしてください。

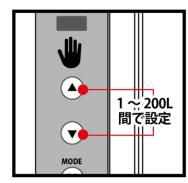
4.2 設定方法

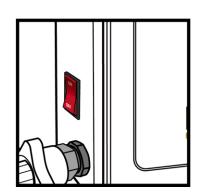
4.2.1 生成量の設定(1~200 L)

生成量の変更は、停止中に行ってください。

- ①生成量が表示されている状態で"▲"、"▼"ボタンを押し
- て、設定したい生成量に調整します。5秒間変更の操作がないと、点灯になって生成量が保存されます。
- ※初期設定値は1Lです。







4.2.2 生成濃度レベルの設定(Lv1~Lv5)

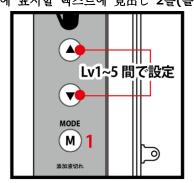
生成濃度レベルの変更は、停止中に行ってください。

①モードボタンを3秒間押します。

ブザー音が鳴り、設定変更モードになります。

- ②モードボタンで濃度レベルを表示させます。
- ③"▲"、"▼"ボタンを押して、設定したいレベルに調整します。5秒間変更の操作がないと、点灯となって濃度レベルが保存されません。※この時点では取水できません。
- ④設定レベルに調整後一度電源をOFF後、再びONにすると、生成濃度レベルの変更が完了します。
- ※初期設定値はLv3です。







4.2.3 ハンドセンサーの生成時間の設定(生成時間20秒~120秒)

生成時間の変更は、停止中に行ってください。

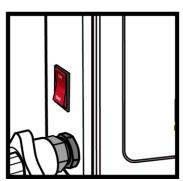
- ① モードボタンを3秒間押します。
- ② モードボタンで生成時間を表示させます。

ブザー音が鳴り、設定変更モードになります。

- ③"▲"、"▼"ボタンを押して、設定したい時間に調整します。5秒間変更の操作がないと、点灯となって生成時間が保存されません。※この時点では取水できません。
- ④ 生成時間変更後一度電源をOFF後、再びONにすると、生成時間の変更が完了します。 ※初期設定値は30秒です。







4.2.4 チャイルドロックの設定

待機状態でチャイルドロックボタンと"▲"ボタンを一緒に5秒間押すと、チャイルドロックランプが点灯してハンドセンサーでのみ生成可能になります。(解除も同じ)

※チャイルドロック「ON」の状態では、ハンドセンサーを用いた生成のみとなり、開始/停止ボタンでの生成や生成量の設定はできません。





4.3 生成の方法

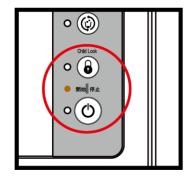
4.3.1 開始/停止ボタンによる生成

開始/停止ボタンを押すと、設定された生成量(L)によって生成が開始します。生成中は、ランプが 点滅し生成中であることをお知らせします。

また表示部には生成残量を表示し、生成に合わせて1L単位で減少します。

設定されている生成量に達すると、生成を停止して表示部には設定されている生成量(L)が表示されます。途中停止した場合、再度開始を押しても、設定水量が吐出されます。

(再開機能はありません)





4.3.2 ハンドセンサーによる生成

手をハンドセンサーに約3 cmまで近づけます。約2秒間で生成開始されます。

※手が動いていると検出されません。静止してください。

生成中の場合は、生成が停止します。

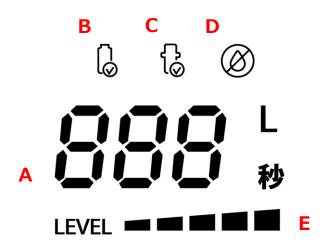
ハンドセンサーが検出して生成を開始すると、生成ランプが点滅し、表示部には生成時間が表示されて、1秒単位で減少しながら残りの生成時間をお知らせします。





5 画面構成

5.1 お知らせ表示



※エラー状態になると生成が停止します。

お知らせランプ	表示	お知らせ内容
В	ランプ点灯 E5	電解槽の交換時期お知らせ 約800時間使用時に作動(A表示部のE5と同時に作動)
С	/	ポンプの交換時期お知らせ 約1600時間使用時に作動(A表示部の E 4と同時に作動)
D	ランプ点灯	給水不良 生成、電解補助液(添加液)補充時、4秒以上生成がない時に作動
E	ランプ点灯	生成流量が2.3L/分以下になると点滅します。 このとき安全のため、Lv5はLv4、Lv4はLv3に自動で下がります。生成流量 が増えるとLvは設定値に戻ります。 生成流量が2.0L/分以下になり、その状態が8秒続くと自動停止し、E3エラー が 表示されます。

6 メンテナンス

6.1 日常のメンテナンス

お客様および管理責任者の方に行っていただく本製品のメンテナンスは、以下となります。

注記



- ・本器の周りに水漏れがないか確認し、水漏れのある場合はお買い 求めの販売店にご連絡ください。
- ・ポンプと電解槽の交換ランプが点滅している場合は、部品の交換時期です。お買い求めの販売店にご連絡ください。

6.1.1有効塩素濃度の確認

酸性電解水の有効塩素濃度は、電解水使用の都度、確認してください。

注 記



所定の塩素濃度から大きな変化があった場合は、販売店にご連絡ください。

有効塩素濃度の確認方法

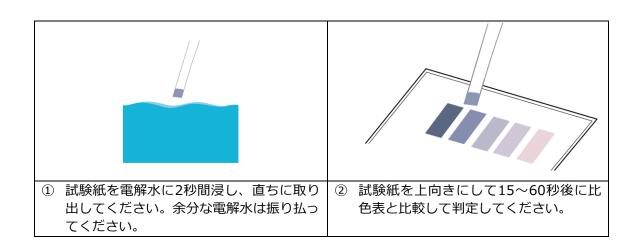
酸性電解水の有効塩素濃度チェックには、付属品のクロール試験紙をご使用ください。

注記



水質、水温、その他の条件により変化します。

- 1 電解水生成を行い、1分程度経過後、1~2L溜め水し、その水に試験紙を浸してください。
- 2 電解水に浸した試験紙とケースの変色表とを比較して、有効塩素濃度を判定します。



6.1.2 pHの確認

電解水のpHの確認は、定期メンテナンスの際に販売店にご依頼ください。

注 記



所定のpHから大きな変化があった場合は、販売店にご相談ください。

6.1.3 日常の清掃および管理

清掃

電源を切ってから、柔らかい布に中性洗剤を浸し、よく絞ってから拭いてください。

注 記



みがき粉、シンナー、ベンジン、ガソリンや灯油などの溶剤は使用しないでください。傷、 変形、変色の原因となります。

本製品周辺の管理

注 記



- ・本製品周辺に物を置いて換気口を塞がないようにしてください。
- ・本製品の上に物を置いたりしないようにしてください。

6.2 消耗品

お買い求めの販売店にご注文ください。

品名	製品画像
Hyqua専用電解補助液	
A:1Lタイプ	
(1L×4本セット)	
メーカー希望小売価格 20,000円(税抜)	
Hyqua専用電解補助液 B:10Lタイプ	
メーカー希望小売価格	
28,000円(税抜)	
クーロル試験紙 (変色表付き) メーカー希望小売価格 2,660円(税抜) 360枚入り	

6.3 定期メンテナンス

常に安定した性能を維持し、お客様に安心して使用いただくために必要となります。

★ モ 定期メンテナンスは、販売店の担当者が行います。

定期メンテナンスには、以下のような項目があります。

- 電解水pH点検
- 電解水塩素濃度点検
- 電解槽電流値点検
- 生成流量点検
- ・ 清掃(給水ホース接続部のメッシュ他)

6.4 定期交換部品

製品を使用することで消耗していくもの、また交換が必要なものがあります。

メモ

- 消耗交換品の価格については、ご購入の販売店へお問い合わせください。
- 部品の交換作業は、販売店の担当者が行います。
- 電解槽の交換のみ、弊社作業担当者が行います。

電解槽(初回付属品)メーカー希望小売価格48,000円(税抜)

Hyquaは、電解槽が1個内蔵されています。

交換目安:電解時間約800時間が交換目安となります。(5.1項エラーランプB参照)

※交換目安は、水道水の水質により変動します。

チューブポンプメーカー希望小売価格20,000円(税抜)

交換目安:チューブ、モータは劣化するため、約1,600時間が交換目安となります。

(5.1項エラーランプC参照)

7 トラブルシューティング

7.1 こんなときは

以下に予想されるトラブルと対処方法を記載します。

注記



- ・機器に不具合がある場合、直ちに本製品右側面の主電源を"○(OFF)"にしてください。 その後、本製品への給水栓を閉めて、本書の裏表紙に記載の販売店までご連絡ください。 い。
- ・その他、ご不明な点などございましたら、裏表紙に記載の販売店、もしくは弊社までご 連絡ください。

症状	原因	対応
722.01	電源プラグが抜けている	電源プラグがコンセントに確実に差してあるか確認してください。
電源が入らない	漏電している	電源を入れなおしてください。それでも電源が入らないのであれば、販売店へご連絡 ください。
	給水栓が閉まっている	給水栓を開け、表示・操作パネルの「給水 弁」異常をリセットして、再度ご使用くださ い。
電解水が取水できない	メッシュにゴミなどが詰まっている	本体の給水口に接続したユニオンアダプターで挟み込むメッシュにゴミなどが詰まっていると水の流れが悪くなる場合があります。
酸性電解水で除菌・消 臭効果が落ちた	電解槽が劣化している	電解槽の使用目安を超えて使用しているお それがあります。使用目安を超えると、濃度 を維持できなくなるので、交換をお勧めし ます。販売店へご連絡ください。
シャワーヘッドから水が垂れる ・①設置直後から、取水停止後にシャワーヘッドよりポタポタと水が垂れる。 ・②長期未使用後にポタポタと水が垂れる。	本体内電磁弁内に異物詰まり	7.1.1 シャワーヘッドからの水垂れ対処方法を実施願います。

7.1.1 シャワーヘッドからの水垂れ対処方法

症状		原因
	フラッシング不足	既設の水道配管を加工して給水管を用意する場合、水道管
①設置直後から、取水		の内側に発生している鉄サビが剥がれる可能性がありま
停止後にシャワー ヘッドよりポタポタ と水が垂れる。		す。サビなどの細かいゴミが給水口メッシュフィルターを
		通り抜けて装置内に入ると、給水のON/OFF動作を行う電
		磁弁に付着し完全に遮断できない場合があります。
	赤水の流入	断水や長期未使用で水道水の流れを止めていると、通水再
②長期未使用後にポタ		開時に赤水が見受けられる場合があります。赤水は水道管
ポタと水が垂れる。		内の鉄サビ等で、装置内に入ると、給水のON/OFF動作を
		行う電磁弁に付着し完全に遮断できない場合があります。

予防方法

水道配管の加工を行った場合は、通水前に洗い水をボールや桶等で受けて、鉄サビ等の汚れが確認できなくなるまで、十分にフラッシングしてください。

赤水が出る可能性がある場合は、通水前に装置への給水配管を一旦外して、フラッシングを行ってください。

対処方法

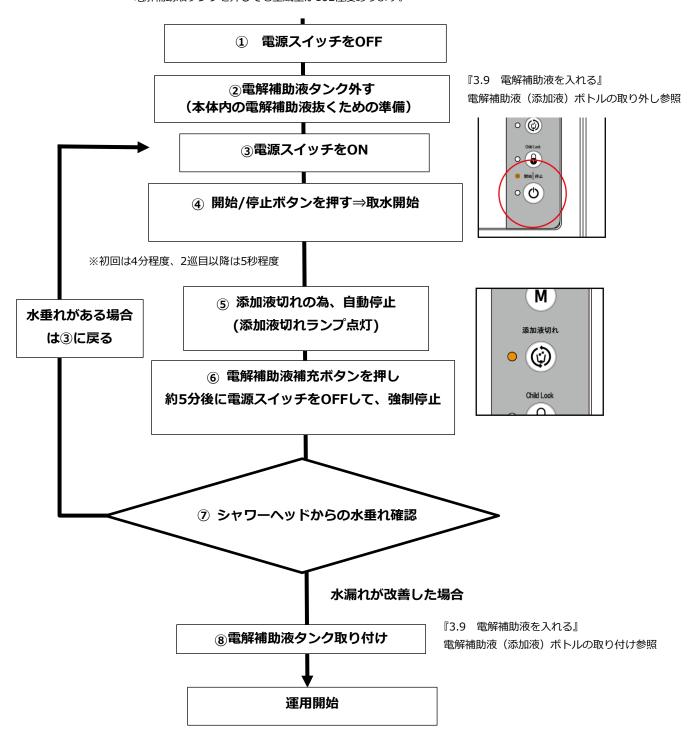
本製品内の電磁弁等に絡んだゴミや異物を通水にて押流しをおこないます

- ・『7.1.2所定量の通水』
- ・『7.1.3通水の短時間繰り返し』
- ・※『7.1.2所定量の通水』で解消できない場合に『7.1.3通水の短時間繰り返し』を行ってください。

※次ページ以降の方法でポタポタ垂れを止めることができなかった場合は、修理が必要となります。

7.1.2 所定量の通水手順

準備:4.2.1項の生成量設定に従って、生成量を20L以上としてください。 電解補助液タンクを外しても生成量が10L程度あります。

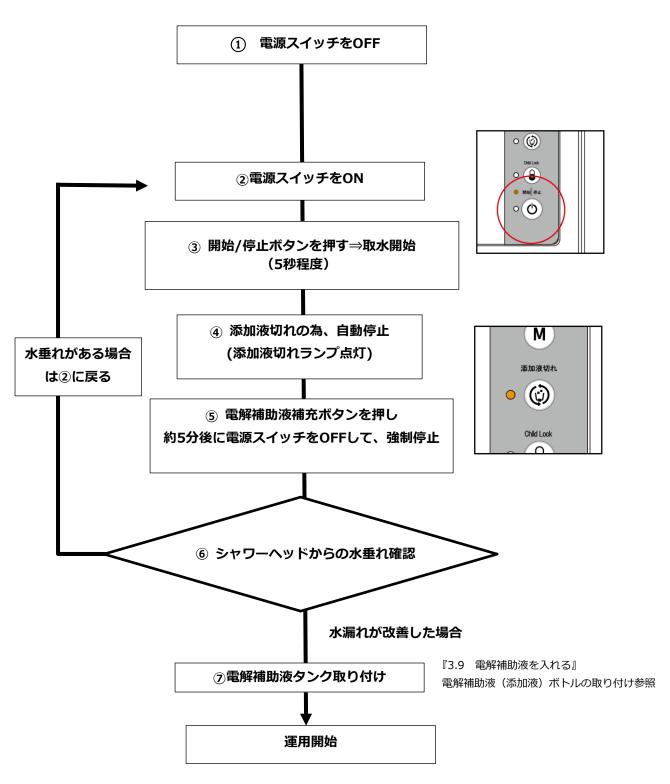


注 記



- ・水垂れが有る場合は、⑦までの工程を2~3回繰り返してください。
- ・水垂れが解消しない場合は、『7.1.3通水の短時間繰り返し』を行ってください。

7.1.3 通水の短時間繰り返し手順



注 記



・水垂れが止められない場合は、販売店にご連絡ください。

7.2 エラー表示一覧

表示されるエラー対処方法を下記に記します。

異常名称	内容・原因・確認事項・対処方法			
E 1表示	内容	・生成停止不具合 ・待機状態、生成の停止、生成完了、電解補助液(添加液)補充時に水が止 まらず流量センサーが3秒以上水の流れを感知すると表示		
	原因・ 確認事項	・ 装置内部の電磁弁故障(閉じない)		
	対処方法	 上記想定原因を取り除き、下記エラー解除手順を実施願います。 電源がOFF状態で"▼"ボタンを押しながら電源をONにします。表示部ランプが点灯後もそのまま"▼"ボタンを押し続けているとエラー解除モードになります。表示部にはE1が表示されます。開始/停止ボタンを押すとE2、E4、E5と変わります。解除したいをエラー選択後"▲"ボタンを3秒間押すとブザー音が鳴り、エラーが解除されて生成待機状態になります。 		
E 2表示	内容	・電解槽の過電流異常・電解槽の電流値が11.5A/秒以上の場合に表示		
	原因・ 確認事項	・5秒程度の短時間運転の繰り返し		
	対処方法	• E1のエラー解除と同じ手順を実施願います。		
E 3表示	内容	 ・給水量が不足 ・生成中生成量が毎分2.3 L 以下になるとレベルバー5個がすべて点滅し、生成量が2 L 以下になるとE3表示し生成停止 ・電解補助液(添加液)補充時に生成量が不足(2 L /分以下)すると、 ・E3表示しながら機能停止 		
	原因・ 確認事項	・給水栓が閉じている。・給水口のメッシュにゴミが詰まっている。・給水される水圧が給水量に対して低い。		
	対処方法	・上記原因を取り除いた後、電源リセット(電源 OFF後ON)で解除できます。 その際給水栓が開いているか確認してください。		
E 4表示	内容	・ ポンプ交換時期お知らせ(約1600時間使用時)		
	原因・ 確認事項	• 装置内チューブポンプの稼働時間が所定値を超えた。		
	対処方法	• チューブポンプの交換を販売店に依頼願います。		
E 5表示	内容	・ 電解槽交換時期お知らせ(約800時間使用時)		
	原因・ 確認事項	• 装置内電解槽の稼働時間が所定値を超えた。		
	対処方法	・電解槽の交換を販売店に依頼願います。・		

注 記

- ・販売店に修理を依頼する際の輸送時の注意事項
- ・①本体内部の補助液ボトルは、空にして梱包して下さい。

- ・②本体縦置き状態で梱包し、天地無用の注意喚起をお願いします。
- 【理由】輸送時の本体内部からの水漏れ防止のため

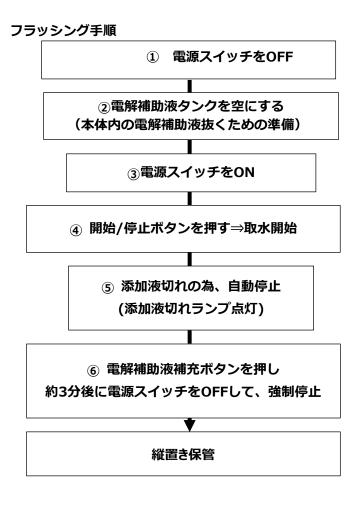
8 製品の保管および廃棄

8.1 本製品の使用を長期間停止する場合

本製品を1週間以上使用しない場合の停止手順、その後の使用停止から復帰する手順を以下に示します。

使用停止時

- 1 本製品の電源をOFFにします。
- 2 電解補助液(添加液)ボトル内部の電解補助液を捨て、ボトル内を空にします。
- 3 本製品のフラッシングを実施します。 開始/停止ボタンを押し、電解補助液(添加液)切れエラーが発生するまで生成後、補助 液切れボタンを長押し(3秒)し、1分程度生成し、電源スイッチをOFFしてください。
- 4 本製品に給水している蛇口を閉めます。
- 5 本体を取りはずす場合は、取水ノズル、給水ホースを取り外し、軽く本体を振って内部 の水を排出した後、付属のキャップをしてください。また梱包、保管する場合は必ず縦 置きしてください。



使用再開時

- 1 本製品への給水ホースを外し、フラッシングを実施します。
- 2 本製品に給水している蛇口を閉じ、給水ホースを接続します。
- 3 本製品に給水している蛇口を開けます。
- 4 本製品の電源をONにします。
- 5 電解水を3分ほど生成します。

注 記

- ・本体へのゴミや異物混入を防ぐ為、給水ホースを接続する前に水道管のフラッシング を行ってください。(フラッシングとは、配管加工、水の停止などで発生する管内の汚れの洗い流しのことです)
- 0
- ・特に、水道管を分岐して給水する場合は、ゴミや異物が混入しやすいので、十分にフラッシングを行ってください。
- ・※フラッシングの際は、水を桶、ボール等で受けて、汚れが無くなるまで行ってくだ さい。

注 記



- ・使用再開直後の電解水は、使用せず、そのまま捨ててください。
- ・使用再開後の電解水は付属の試薬で所定の塩素濃度を、確認してから使用してください。

8.2 本製品を廃棄する場合

8.2.1 本体の廃棄

本体を廃棄する場合は、設置場所のある地方自治体に処理方法をご確認ください。

主要材質:ボディ(ABS樹脂)、内部ホース(PP樹脂)、

内部部品に一部ステンレスなどの金属を使用しています。

8.2.2 梱包材等の廃棄

梱包材などを廃棄する場合は、設置場所のある地方自治体に処理方法をご確認ください。

主要材質:段ボール、発砲スチロール、ポリ塩化ビニル等

改訂履歴

バージョン	改訂日	改訂内容

本装置に関するご質問やご相談、不具合や緊急の場合のご連絡は、以下にお願いいたします。

販売店

アシストメイク株式会社

東京都板橋区前野町1-45-22 811号 TEL: 03-6750-9654 Mail: info@assist-make.co.jp https://assist-make.co.jp/

●製品の色は印刷物ですので実際の色と若干異なる場合があります。 ●製品の定格およびデザインは改善等のため予告なく変更する場合があります。 ●製品には、ご使用上の注意を表示したステッカーを貼付しています。



https://seemsj.jp

輸入・販売:株式会社SEEMS

〒104-0032 東京都品川区大崎3-5-2 エステージ大崎ビル6階612

開発・製造: SEEMS BIONICS.Inc 240821